

わくわく倶楽部

江口グループ

第226号

令和8年5月発行

土木の魅力伝える、その一歩を踏み出して

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



い つも江口グループわくわく倶楽部ニュースレターを
読んでいただきありがとうございます! 今月は土木
広報大賞2025について書きました。読んでいただけると嬉
しいです。

先 日、東京で開催された「土木広報大賞2025」表彰式
に参加してきました。江口組としては、今回で3回目
の受賞となります。受賞が決まった時は、もちろん嬉しい気
持ちでいっぱいでした。ただ、実際に表彰式の場に立ってみ
ると、それ以上に強く感じたのは、土木広報の大切さと、そ
こに関わる仲間の存在の大きさでした。

今でこそ、土木の魅力を発信する動きは少しずつ広がっ
てきましたが、僕がSNSなどで発信を始めた頃は、まだそう
した取り組みは珍しく、周囲に同じ思いを持つ人もほとんど
いませんでした。

時には、「なぜ土木のことを発信するのか」「そんなことは
仕事に関係ないのではないか」といった声を耳にすることも
ありました。それでも、発信をやめようとは思いませんでした。
なぜなら、僕自身が土木という仕事の持つ魅力と価値を
心から信じていたからです。

土木は、人々の暮らしを支える基盤です。道路や橋、河川
や上下水道、そして災害から地域を守るためのインフラ。それ
らは、私たちの毎日を支える欠かせない存在です。けれど、
その多くは当たり前すぎて、普段はあまり意識されません。
何も起きないこと、安心して暮らせること、その裏側には、目
に見えないところで地域を支えている土木の仕事があります。
だからこそ僕は、その見えにくい価値を、少しでも多くの
人に伝えたいと思ってきました。土木は、決して派手な仕事
ではありません。でも、人の暮らしを守り、地域の未来をつ
くる、誇りある仕事です。

今 回、江口組に表彰状を授与してくださったのは、三上
美絵さんでした。三上さんは、土木遺産の魅力を「かわ
いいう土木」という独自の視点で発信されている方で、僕に
とって以前から憧れの存在です。三上さんの記事や発信に
触れた時、その視点の柔らかさと、土木への深い愛情に大き
な衝撃を受けました。

土木というと、どうしても「堅い」「難しい」「専門的」とい
ったイメージを持たれがちです。でも三上さんは、そこに親し
みやすさや愛着という新しい光を当ててくれました。その発
想に出会ったことで、僕自身も「伝え方ひとつで、土木の見
え方は大きく変わる」と気づかされました。

江口組でも、その学びを生かしながら、現場の様子を親し

みやすく伝えたり、若手社員の声を届けたり、クイズやキャ
ラクターを取り入れたり、いろいろな工夫を重ねてきまし
た。現場を少しでもやわらかく、親しみやすく感じてもらえる
ように、オリジナルキャラクターを活用した発信ができるよ
うになったのも、大きな影響のひとつです。

そうした積み重ねの中で、少しずつではありますが、土木
に興味を持ってくださる方や、江口組の発信を楽しみにして
くださる方が増えてきました。その変化を感じるたびに、発
信には人の心を動かす力があると実感しています。

表 彰式のあとの懇親会では、全国で土木広報に取り組
む皆さんと交流することができました。それぞれ立
場も方法も違いますが、共通していたのは、土木の魅力をも
っと多くの人に届けたいという熱い思いでした。

懇親会が終わったあとも、場所を移して語り合いは続きま
した。土木広報の現状、課題、そしてこれからの可能性。本
気で向き合っている人たちと交わす言葉には、大きな刺激と
学びがあります。

同じ志を持つ仲間がいること。互いに励まし合い、学び合
い、高め合える関係があること。それは本当に心強く、あり
がたいことだと改めて感じました。

僕はこれからも、こうした仲間たちとともに、土木の魅力
と価値を発信し続けていきたいと思っています。土木は、
人々の暮らしを支える仕事であり、地域の未来を創る仕事
です。その大切さを、もっと多くの人に知ってもらいたい。そ
して、土木に関わる人たちの思いや誇りも、しっかりと伝え
ていきたいと思っています。

今回の受賞も、決して僕一人の力でいただけただけのもの
ではありません。日々現場で頑張ってくれている社員のみな
な、発信を支えてくれる仲間たち、そして江口組の取り組みに関
心を持ち、応援してくださる皆さんの存在があったからこそ
いただけただけの賞です。この感謝を忘れず、これからも一歩ずつ、
土木広報に取り組みしていきます。そして、この記事を読んでく
だされた皆さんにも、土木の魅力に少しでも触れていただけたら
嬉しいです。土木は、暮らしを支えるだけでなく、地域の未来
に安心と希望をつくっていく仕事です。そんな土木の魅力を、
これからも江口組らしく、まっす
ぐに伝えていきたいと思っています。



「かわいい土木」の三上さんと

江口グループ現場だより

今年も新たな仲間が加わりました — 社員が安心して働ける環境へ —

4 月1日、令和8年度江口グループ入社式が行われました。今年も新たに3名の新入社員を迎えました。少し緊張した表情の中にも、「ここで頑張りたい」という前向きな想いが感じられる、そんな一日となりました。

江 口組ではここ数年、毎年新入社員を迎えており、若い世代が少しずつ増えています。年齢の近い先輩も多く、日々の仕事の中で声をかけ合いながら、互いに支え合う風土が根づいています。現場の仕事は、初めてのことも多く、決して簡単なものではありません。しかし、先輩社員が丁寧に指導し、一つひとつ経験を積み重ねていく中で、

自分の携わった仕事が形となり、地域に残っていきます。また、周りに相談しながら進められる環境の中で、安心して仕事に取り組むことができます。そうした日々の積み重ねが、自信や責任感へとつながっていきます。

新 入社員たちが少しずつ仕事に慣れていけるよう、社員全員で支えていきます!



地域を守るために、私たちができること ～ 梯川清掃活動～

3 月28日(土)、江口組の社員で梯川の清掃活動に参加しました。当日は天気にも恵まれ、気持ちの良い空の下での活動となりました。

普段何気なく見えている川ですが、実際にゴミ拾いをしてみると、草むらの中や川沿いにはペットボトルや空き缶、ビニール袋など、想像以上に多くのゴミが落ちていました。きれいに見えていた景色の裏に、これほどのゴミがあることに驚きました。

普段暮らしている地域だからこそ、この現状を知り、少しでもきれいな町を守っていきたい! そんな想いで地域の方と協力しながら活動を行いました。社員同士の交流も生まれ、「人」と「地域」の繋がりの大切さを改めて感じる時間となりました。

袋 いっぱいにゴミが集まっていくたびに、目の前の景色が少しずつ変わっていくのを実感しました。活動

後の川沿いは見違えるほどすっきりとした景色に! 自分たちの手で地域をきれいにできたことに、大きな達成感を感じました。

次回の梯川清掃活動は9月に開催予定です。江口組はこれからも地域の一員として、こうした地域貢献活動に取り組んでいきます!



このニュースターの他に、江口組公式 SNS でも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

www.facebook.com/eguchigumi/

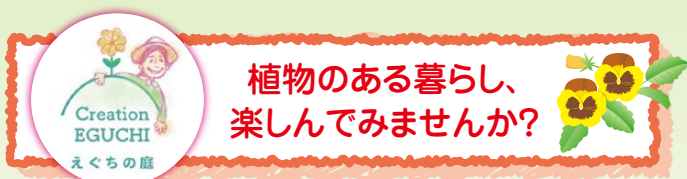


(株)江口組公式 X (旧Twitter)

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^)!



こんにちは。クリエイション江口造園部の中田さやかです。最近「NL見てるよ～」とお声がけいただくことも増え、とても嬉しく、励みになっています。

さて、春のお花の季節から、新緑も美しい季節へと移り変わってきましたね。落葉樹は四季を通してさまざまな表情を見せてくれますし、一年草や多年草、宿根草の草花も、お庭を豊かに彩ってくれます。お庭は不思議と、人と人とのコミュニケーションが生まれる素敵な空間です。咲いたお花を切り花にしてプレゼントしたり、株分けをしておすそ分けしたり。そんなやりとりも、お庭ならではの楽しみだと感じています。私自身も小学生の頃、よく学校にお花を持って行って飾っていたことを思い出します。

一方で、咲いているお花を無断で摘まれてしまい、悲しい思いをされたというお話を耳にすることもあります。マナーを大切にしながら、気持ちのよいコミュニケーションが生まれればいいと思います。

こて、お花の楽しみ方のひとつに「ハンギングバスケット」があります。ハンギングバスケットは、引っかかたり吊るしたりして楽しむ寄せ植えのスタイルです。地植えのスペースがなくても取り入れやすく、ベランダや玄関先を華やかに演出してくれます。イギリスで始まった技法で、都

市の景観づくりから個人のお庭まで幅広く親しまれています。空間を立体的に使えるのも魅力のひとつです。私も資格を取得し、ハンギングバスケット協会北陸支部の一員として活動しています。

6月5日～7日には、木場潟東園地「さとしるべ」にて、一般の方やキッズ向けの教室を開催予定で、その後、約1週間ほど作品の展示も行います。(写真は昨年の様子です)ご興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。無理のない範囲で、それぞれの楽しみ方で「植物のある暮らし」を見つけていただけたら嬉しいです。お手伝いできることがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



クリエイション江口 環境部 ▶▶▶ 「ドライアイス洗浄で、現場はどう変わるのか」

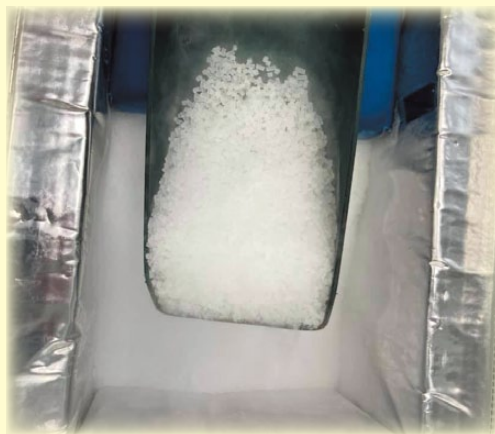
えっ、ドライアイスで洗うの？

正直に言うと、私も最初はそう思いました。水でもない、薬品でもない。しかも「削らない」と聞いて、本当にそんなので汚れが落ちるのか、半信半疑でした。

でも実際に現場に入ってみると、その印象はすぐに変まりました。水を使えない場所でも洗える。設備を大きく分解しなくても対応できる。止められない現場でも、方法によっては負担を減らせることがある。

「もう無理かも」と思っていた汚れが落ちた時、お客様の表情がふっとやわらぐ瞬間があります。その時に私は、ドライアイス洗浄はただ汚れを落とす技術ではなく、困っている現場の力になれる仕事なんだと感じました。

でも、なぜドライアイスである頑固な汚れが落ちるのか。
次回は、その不思議な仕組みをわかりやすくお伝えします。



して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください！毎日どれかは必ず更新しています！



(株)江口組公式 Instagram
eguchigumi



(株)江口組公式 YouTube
えぐチャンネル!





新入社員紹介



いつもニュースレターを読んで下さりありがとうございます。
今月のスタッフ通信は、新入社員2名の紹介です！
これからも江口グループをよろしく申し上げます♪



工事部

川嶋 泰志

趣味

音楽

好きな食べ物

ラーメン

意気込み

精一杯頑張ります



総務部

松元 幸愛

趣味

アニメ、音楽

好きな食べ物

じゃがいも

意気込み

強く生きる。



ご意見・ご感想など、
同封のアンケートハガキ
または、下記のQRコードより
ぜひお聞かせください!!



発行元

EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)

eguchigumi@eguchi-group.co.jp